特集

妊娠期から産後まで，地域でつなぐ母子の支援

南さつま市と保健所が協働して構築した母子保健活動
妊娠期から産後の地域移行期における保健師の重層的な関わり ―― 赤瀬和代

産後ケアの新しい形と考え方の提案 ―― 福島富士子

世田谷区の母子支援 産後ケア事業を中心に ―― 小堀由祈子

NPO による育児支援と行政との連携 ―― 松田妙子

地域の助産師と保健師のさらなる協働を ―― 加藤尚美

編集後記

●10 月 21 日から 3 日間，秋の奈良へ，平城京遷都 1300 年祭で賑わう古都見物(？)ではなくて，公衆衛生学会の取材のため。1300 年祭の本番は来年のことだ。

本誌の担当になって間もなく 1 年。昨年の博多での公衆衛生学会では何がなんだかわからないところもあったが，今年は多くの発表と発表者を取材することができた。大きな会場のシンポジウムや口頭発表以上に，ポスターを前にした示説発表は熱がこもってあつい。時間をオーバーして質疑時間がなくなると，発表者がその場に残って直接討論できるのは示説発表の長所だ。ただ，別の発表をしている傍で見学者同士が挨拶を始めたり，他の話題で盛り上がったり，同窓会(？)を始めるのは，発表を聞いている人に障りがある。他の場所でやってほしい光景だった。

自由集会というのにも初めて参加した。集会ごとに内容に工夫があるが，終了後に，独自に懇親会をもつグループもある。発表者やシンポジストとより親しく交流し，内容がより身近に感じられる。来年は 10 月 27〜29 日に東京国際フォーラムで開催の予定。 (杉之尾)

●第 68 回日本公衆衛生学会総会取材のため，奈良に行きました。興味深そうなシンポジウム・口演・示説がありすぎて，とても全て見回ることができませんでした。複数会場での開催だったため，他方の会場へ奈良公園沿いを歩く道すがらは鹿や修学旅行生や遠足の園児などで賑わい，天気にも恵まれて会場間の移動は気持ちのよいものでした。

学会発表はそれぞれの現場での実践を振り返り共有できる，いわばハレの舞台であり，奈良公園の賑わいに負けない活気を感じました。

舞台といえば，総会 2 日目プログラムの一環として，南都楽所による雅楽も楽しませていただきました。伝統芸能に疎い私は内容の理解をすぐに諦め，舞台中央でのたおやかな舞を眺めつつ，楽器の音色を楽しみました。30 分間背筋を伸ばして舞い続ける姿は，会場間の往復だけでくたくたで猫背な私とは大違いです。

さまざまな興味深い発表を誌面に活かしていけたらと思います。保健師の皆さまも実践・研究発表の場として弊誌をご活用いただけたら幸いです。 (長谷川)

保健師ジャーナル 第 65 巻 12 号 2009 年 12 月 10 日発行(毎月 1 回 10 日発行)
Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan
1 部定価 1,365 円(本体 1,300 円＋税 5 %) 2009 年年間購読料(税込，送料弊社負担)15,000 円，電子ジャーナル閲覧オプション付 20,000 円
発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600
保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/杉之尾・長谷川・伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
JCOPY 〈(社)出版者著作権管理機構委託出版物〉
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/09/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは，1 論文 1 回複写につき 250 円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には，筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。
©IGAKU-SHOIN Ltd, 2009

2026/09/17 09:39:09